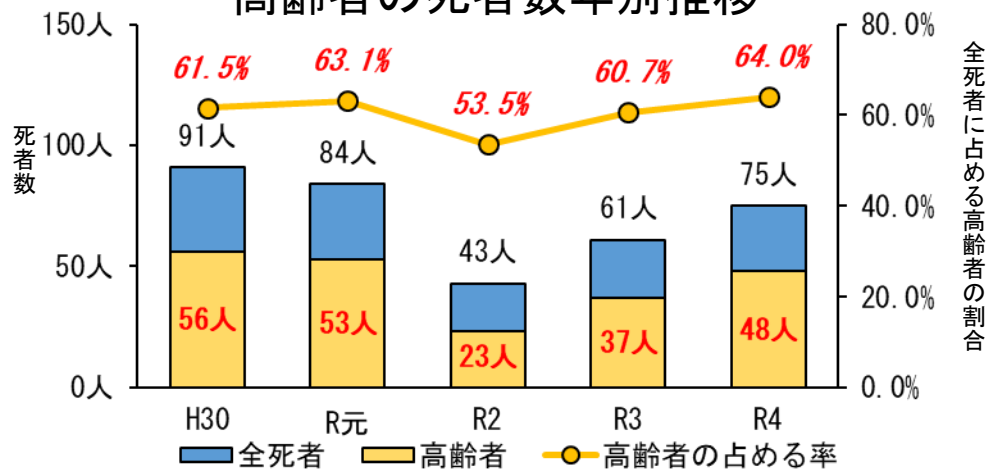
高齢者の死者が全死者の６割超

過去５年間（平成30年～令和４年）の死亡事故から

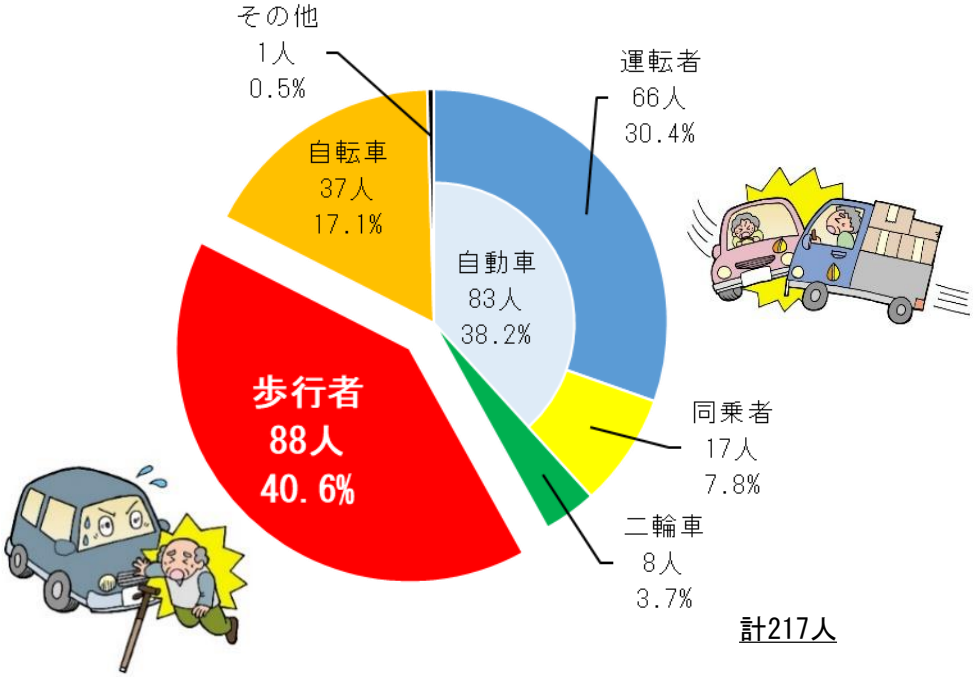
令和４年中に交通事故で亡くなった65歳以上の高齢者は48人で、全死者の64%を占め、平成30年以降の５年間を見ると、令和２年を除き６割超で推移しています。

また、過去５年間の高齢者の死者を見てみると、歩行者が最も多く、特に、高齢歩行者の死者の７割超が75歳以上となっています。

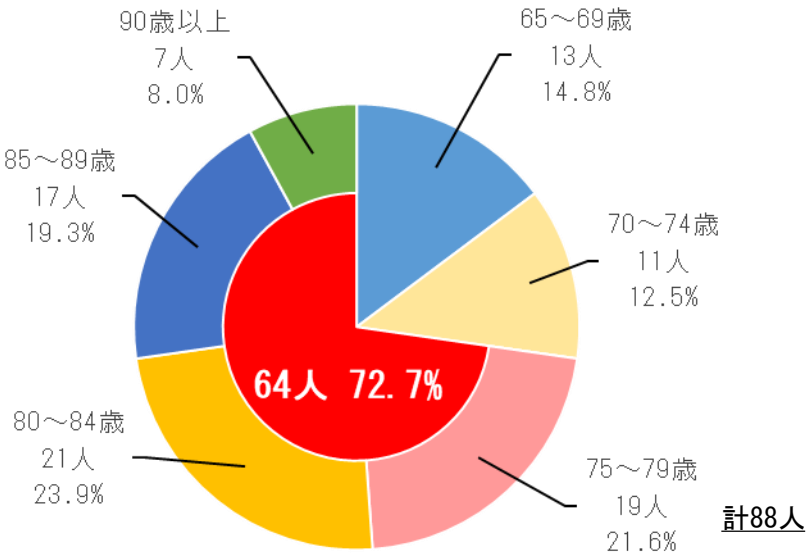
高齢者の死者数年別推移



高齢者の死者・状態別



高齢歩行者の死者・年齢層別



高齢歩行者は夕暮れ・横断中に注意！

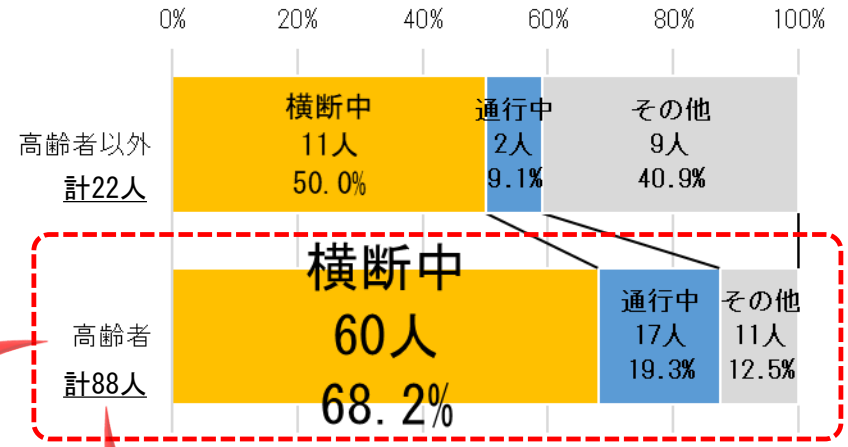
過去５年間（平成30年～令和４年）の死亡事故から

高齢歩行者の死者のうち道路横断中の死者は約７割で、高齢者以外（５割）と比べて高い割合を占めています。

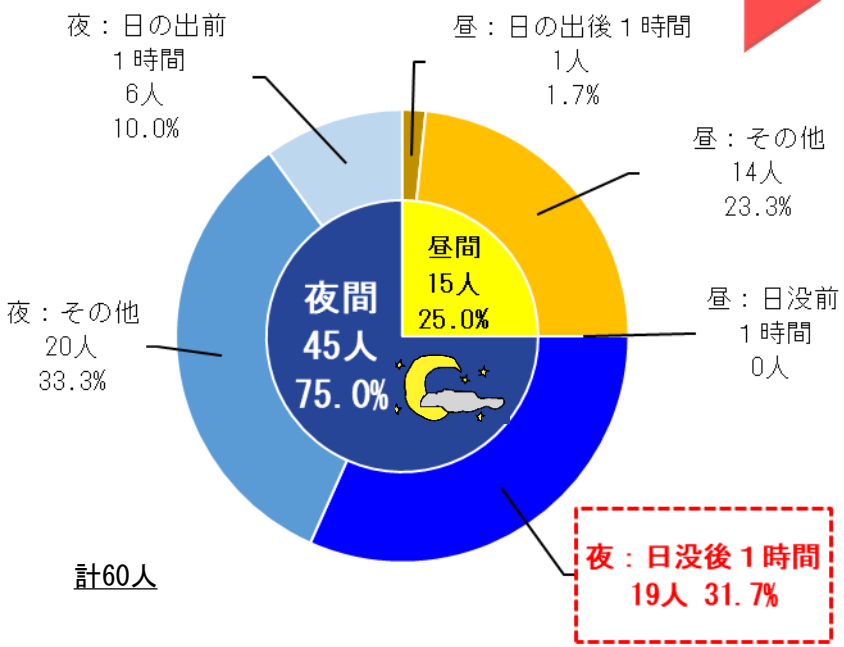
特に夜間は道路横断中の事故が多く、昼間の３倍の発生となっています。

また、道路横断中の高齢歩行者の死者の８割近くが夜間に被害に遭っており、特に日没後１時間以内に多く発生しています。

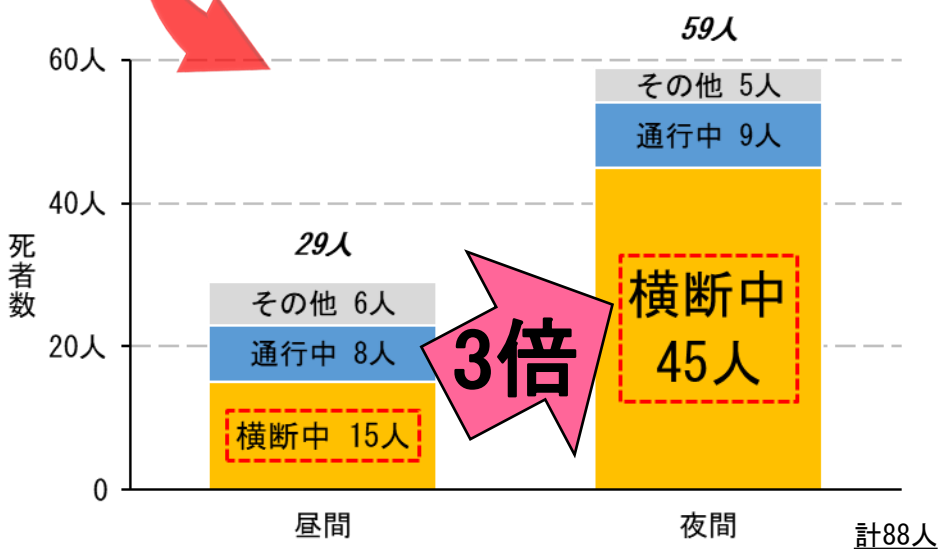
≪ 高齢歩行者の死者・道路利用状況別 ≫



≪ 昼夜別死者数 ≫



≪ 道路利用状況別死者数 ≫



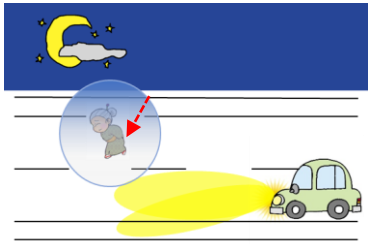
夕暮れから夜間の外出時は反射材を着用！

過去５年間（平成30年～令和４年）の死亡事故から

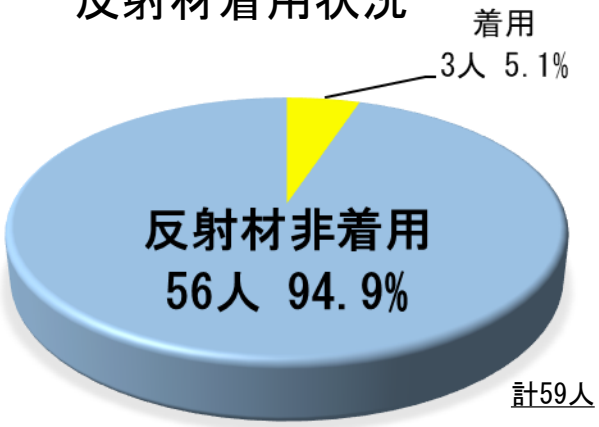
夜間の高齢歩行者の死者59人のうち、反射材を着用していたのは３人で、それ以外の56人は反射材を着用していませんでした。

高齢歩行者の道路横断中の事故の車両進行方向を比較すると、夜間は歩行者から見て『左からの車両』と衝突する事故が８割超と高率です。

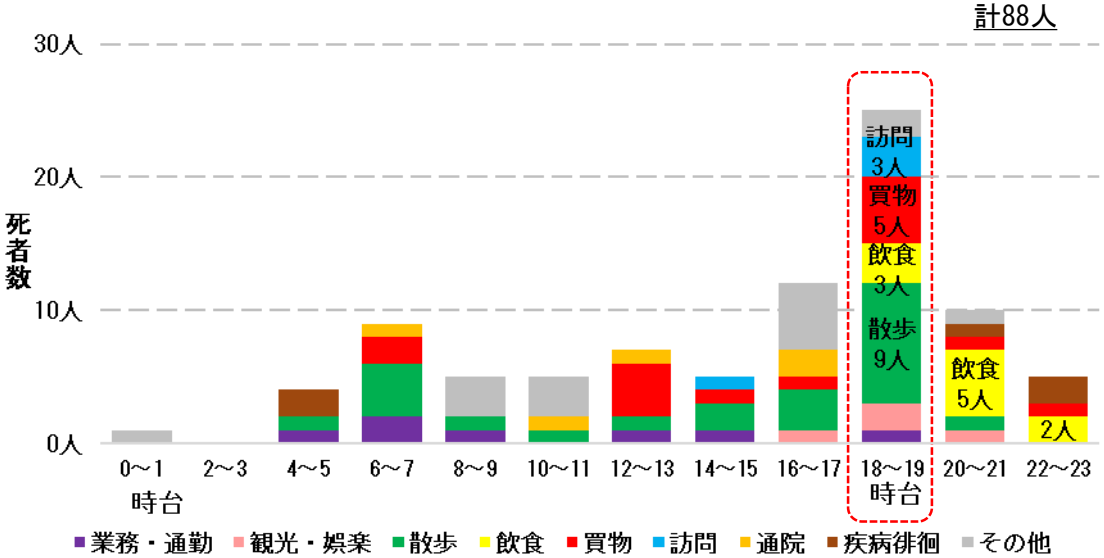
特に18～19時台に事故が多く、散歩、買物、飲食、訪問などの通行目的が多い。



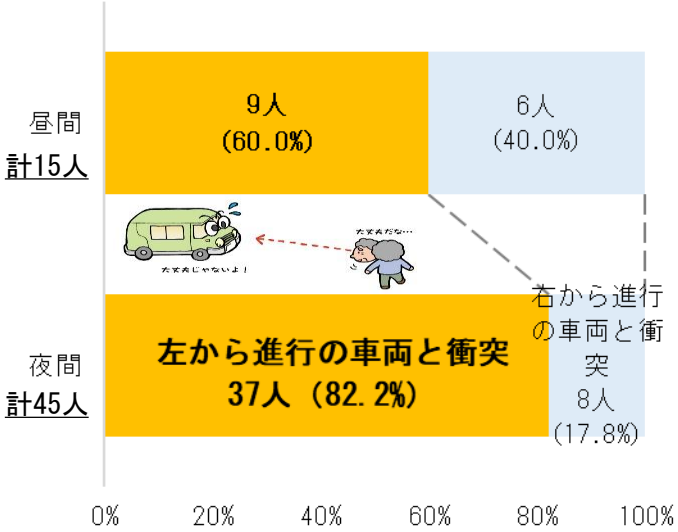
夜間の高齢歩行者の死者 反射材着用状況



高齢歩行者の死者・時間帯別通行目的



高齢歩行者の横断中死者



秋・冬に多発する高齢歩行者の事故

過去５年間（平成30年～令和４年）の死亡事故から

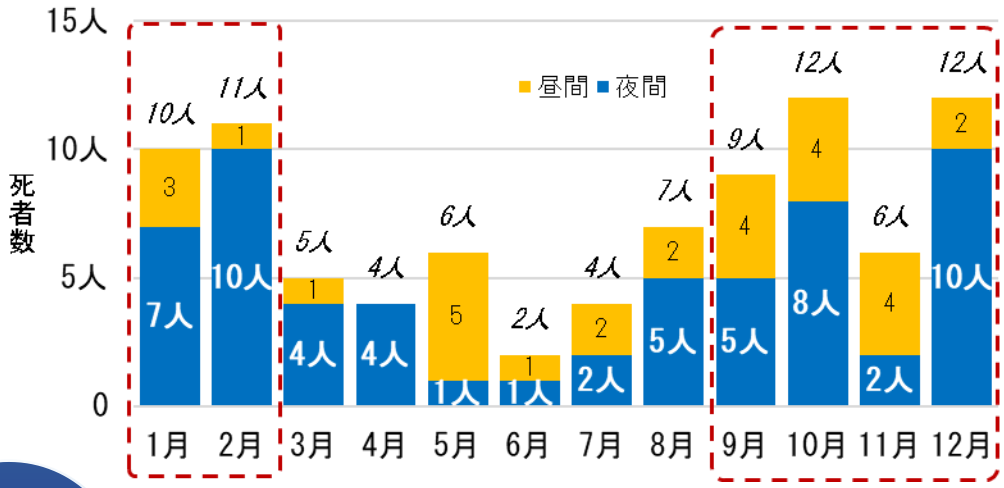
高齢歩行者の死者を月別にみると、11月を除いて９月以降多発傾向にあります。

また、９～２月と３～８月を比較すると、高齢者以外の歩行者は双方同数であるのに対して、高齢歩行者の死者は９～２月が約７割を占め、３～８月の約２倍発生しています。

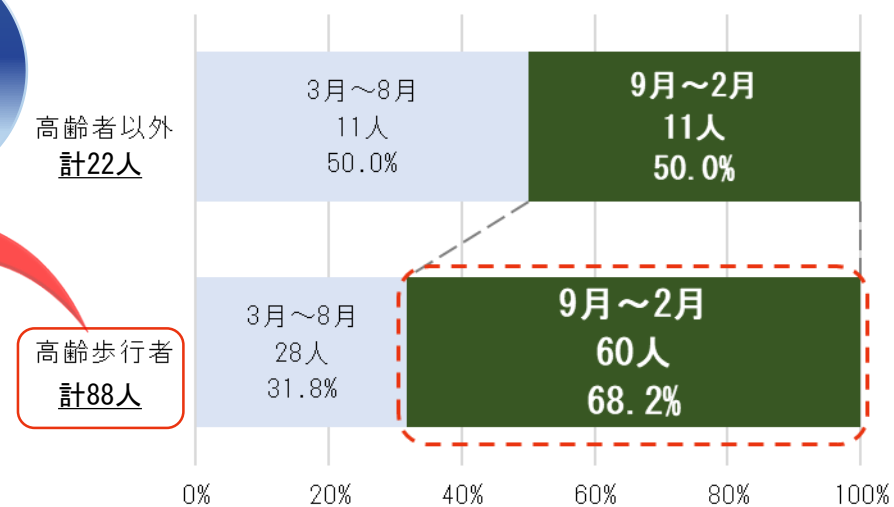
９～２月の高齢歩行者の死者は夜間の被害が多く、３～８月の約2.5倍発生しています。

月別高齢歩行者の死者数

計88人



高齢歩行者の死者・昼夜別



秋・冬に多発する高齢歩行者の事故

過去５年間（平成30年～令和４年）の死亡事故から

高齢歩行者の死者は、日没時間が早まる９月以降に多くなる傾向があります。

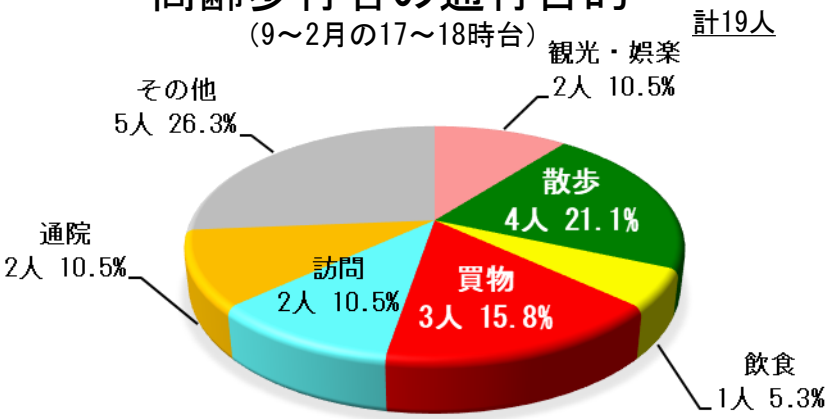
時間帯をみると９～２月は日没後の17～18時台に高齢歩行者の事故が多発しています。

また、９～２月の17～18時の通行目的をみると散歩、買物での事故が多い。

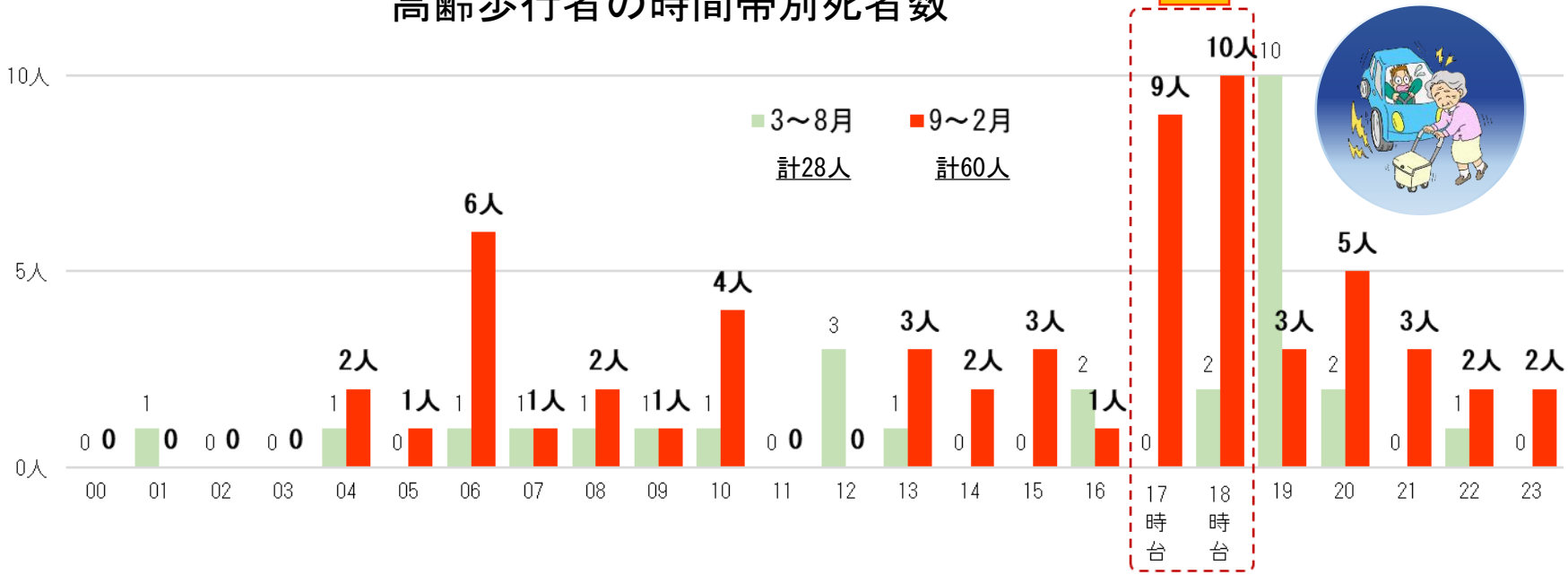
高齢歩行者の通行目的

（9～2月の17～18時台）

計19人



高齢歩行者の時間帯別死者数



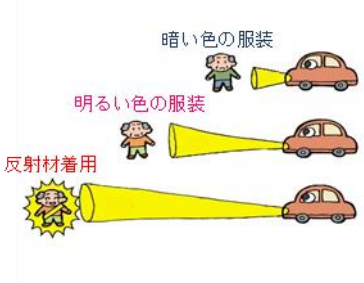
高齢歩行者の交通事故防止

≪　運転者の皆さんへ　≫

●危険を予測し速度を控えた安全運転の徹底

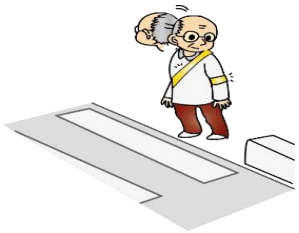
　特に夜間は、危険をより早く発見して対応できるように、速度を控え、危険を予測した運転をしましょう。
　また、運転手から見て道路右からの横断者に十分注意しましょう。

●早めのライト点灯とハイビームの活用



　日没30分前を目安に、早めにライトを点灯させましょう。夜間、先行車や対向車がいない場合はハイビームを活用して危険を早めに発見しましょう。

≪　歩行者の皆さんへ　≫



●『止まる』『見る』『待つ』『確かめる』の徹底

　道路を横断するときは一度立ち止まり、左右の安全を確実に確認しましょう。

●『明るい服装』と『反射材』着用の徹底

　夜間外出する際は、明るい服装を選び、必ず反射材を身につけましょう。